

令和7年度 施策評価シート

施策の大綱	1. 快適さを支える生活基盤の向上	評価担当者
基本施策	(10) 歴史文化を生かしたまちづくりの推進	市民文化部長 林 秀臣
目指す姿	市民・事業者・行政が一体となって歴史文化を生かしたまちづくりを進めています。	
関連する分野別計画	亀山市歴史的風致維持向上計画(第2期)	

■SDGs

基本施策に関連するSDGsのゴール	4 質の高い教育をみんなに 	8 働きがいも経済成長も 	11 住み続けられるまちづくりを 	15 陸の豊かさも守ろう 	17 パートナーシップで目標を達成しよう 
SDGs推進の考察	東海道を基軸とした街道の環境整備や町並み保存事業等において、持続可能な経済成長につながる環境・景観に配慮した歴史文化の保存に取り組むことができた。また、様々なパートナーシップにより関宿の保存・活用や鈴鹿関跡調査成果の発表、記念誌の発行、天然記念物ネコギギの保護増殖、企画展の開催等を行うことで、文化財等に対する市民の意識向上や様々な学習機会の提供を図ることができた。				

■関連する主な事業

(単位:千円)

施策 の方向	事業名	上段:予算額	実績・成果等
		下段:決算額	
①	東海道街道環境整備事業	12,400	国の社会資本整備総合交付金を活用し、東海道が歴史的な道路であることを一目で認識できるよう舗装の美装化を実施したことで、市民や来訪者に対し、東海道を中心とした沿道区域の魅力向上につながった。また、亀山宿東海道には着手できなかったものの、関宿東海道の整備は全区間で完了し、地域の景観向上と回遊性の向上に寄与する成果が得られた。
		12,397	
②	伝統的建造物群保存修理修景事業	39,975	適正に補助金を交付し、地域住民の協力を得て計画的な事業進捗により歴史的景観の保存整備と生活環境の向上を推進した。また、工事現場の公開を設計士等を対象に行いつつ、修理修景事業に係る設計及び工事監理を適切に行うことができた。
		39,559	
②	関宿伝建選定40周年記念事業	1,000	文化庁調査官や関宿に関わる各保存団体や職人等の声を掲載し、愛着と誇りの醸成につながる記念誌を作製した。また、「子どもワークショップ」を開催し、次世代を担う子どもたちの人材育成を行った。
		998	
③	鈴鹿関跡学術調査事業	4,936	学術調査専門委員会の指導・助言のもと、地形の赤色立体図化や軒瓦の三次元計測を行い、今後の調査研究に必要な基礎データを蓄積した。また、調査成果の発表や出前講座等の啓発活動を行った。
		3,991	
①	歴史街道遺産活用事業	1,162	亀山宿イラストマップ及び伊勢亀山城パンフレットの増刷を行い、ほかのリーフレットと併せて公共施設等に配架し来場者に広く配布した。また、国史跡鈴鹿関跡と県天然記念物宗英寺イチョウの説明看板等を設置し、文化財の周知と歴史的風致の維持向上に寄与した。
		1,100	
②	一般事業(町並み保存費)	1,706	全国伝統的建造物群保存地区協議会を通じて要望活動を行うとともに、東海道関宿まちなみ保存会においては、当協議会総会(京都府京都市)へ参加することにより、全国の保存団体等と交流を深めた。また、関宿案内ボランティアとも連携し、三重県観光連盟主催の研修会(伊勢市)に参加し、他地区の案内団体による事例紹介を学び、交流を行うことにより、案内技術の向上に努め、関宿の保存と活用を推進した。
		1,640	
③	指定文化財維持管理費	11,808	市所有文化財等の経常的維持管理や文化財保存伝承活動補助、文化財保護事業に対する補助金等の交付(16件)を適切に行い、文化財等の保護を図ることができた。
		11,513	
③	一般遺跡調査事業	8,878	亀山中学校の給食施設整備に伴い亀山城跡の発掘調査を実施し、埋蔵文化財包蔵地に係る123か所の工事立会調査と5か所の試掘調査を実施した。また、亀山城跡発掘調査報告書の作成やこれまでに出土した遺物等の整理を行い、適切に管理することにより文化財等の保護を図ることができた。
		7,861	
③	希少水生生物保護増殖事業	2,707	鈴鹿川水系におけるネコギギの生息確認調査を実施し、生息の可能性のある範囲の経年変化を記録した。また、更に詳細な生息状況を明らかにするため、令和6年度に初めて実施した環境DNA調査を令和7年度も実施した。そして、ネコギギの稚魚を放流(571個体)することにより、保護増殖へつなげることができた。そして、市広報番組において、ネコギギの紹介やその保護に関する取り組み状況についての特集番組を制作し、当事業の普及啓発を行い、市民の意識向上にも努めた。
		2,694	
④	企画展開催費	90	企画展示では「初お目見え＆推しのIPPIN!」や「WakuWakuひろば 博物館で遊ぼう」を開催し、3,137人の来館があった。企画展示等を通じて、亀山市の歴史を伝える機会を提供した。
		90	

太字:主要事業

■成果指標

指標		単位	現状値		実績値				目標値
					R4	R5	R6	R7	
1	街道沿道における文化財公開施設見学者数	人	24,476	R2	36,283	37,797	46,825	53,423	30,000
2	関宿重要伝統的建造物群保存地区内の街道に面した建造物の修理修景事業の完了率	%	59.0	R2	62.2	63.0	65.3	66.3	66.0
3	国・県・市の指定等を受ける文化財の数	件	136	R2	136	136	136	136	138
4	史資料を活用し学校や地域の歴史学習を実施した回数	回	—	—	102	136	81	69	120
5									

■市民アンケート調査

項目			現状値 [R2]	1次 [R5]	2次 [R6]	市民アンケートの考察 (令和6年度施策評価内容を参考記載)
1	文化財や歴史的なまちなみが保存整備されている	重要度	0.83	0.92	0.93	東海道とその沿道に特色ある歴史文化遺産が存在しており、両項目とも重要度は比較的高くなっている。地域住民の協力のもと、東海道街道環境整備事業や伝統的建造物群保存修理修景事業等の歴史的風致の維持向上に向けた取り組みが順調に進捗していることから、一定の評価を得ていると推察される。
		満足度	0.21	0.34	0.36	
2	歴史や文化をいかしたまちづくりが行われている	重要度	0.71	0.82	0.78	
		満足度	▲ 0.15	▲ 0.03	▲ 0.01	
3		重要度				
		満足度				
4		重要度				
		満足度				

■施策推進 [施策の方向]

施策の方向	施策推進に関する考察
① 東海道を基軸とした歴史的風致の維持向上	歴史文化資産に関する説明看板等の設置を行った。今後も文化財保護を進めつつ、東海道を中心とした街道の連続性や宿場間の一体感の確保に努める。
② 関宿重要伝統的建造物群保存地区の保護の推進	伝統的建造物等の修理修景事業を進めるとともに、消防との連携により地域とともに防災訓練を実施した。今後も地域の理解を得て伝統的建造物等の保存と活用を進めていく。
③ 鈴鹿関跡等の文化財の保存と活用	鈴鹿関跡の学術調査研究を継続して進めるとともに、ネコギギの生息調査と保護増殖に努め、意識向上のための普及啓発も行った。今後も文化財の保存と活用を進めていく。
④ 歴史資料の公開・活用による地域や学校との連携	企画展示や学校との連携による歴史資料の公開・活用と、歴史資料のデジタル化の検討等を行った。多様な連携による学ぶ機会の提供と適切な収蔵品の管理に努める。
⑤	
⑥	
⑦	

総合評価

東海道を基軸とした歴史的風致の維持向上については、関宿東海道的美装化を完了するとともに、国史跡鈴鹿関跡と県天然記念物宗英寺イチョウの説明看板等を設置して街道の環境整備や文化財の保護に取り組んだ。関宿伝統的建造物群保存地区の保護の推進については、地域住民の協力を得て事業を進め、修理事業を9件、修景事業を4件実施して保存・活用を図り、目標値の66%の完了率を達成できた。また、改めて関宿に携わる様々な担い手と共に未来へ向けて、保存地区住民等の機運を高め、更なる「保存と活用」の活性化を目指すことを目的とする関宿重伝建選定40周年の記念誌を作成するとともに、「子どもワークショップ」を開催し、次世代を担う子どもたちへ学習の機会を設けたことで、関宿の保存継承を推進した。文化財等の保護においては、亀山城跡の発掘調査の実施や、埋蔵文化財包蔵地に係る123か所の工事立会調査と5か所の試掘調査を実施するとともに、文化財防火デーにあわせ防災訓練を実施した。また、亀山城跡発掘調査報告書の作成やこれまでに出土した遺物等の整理を行い、適切に管理することにより文化財等の保護を図ることができた。鈴鹿関跡学術調査事業においては、学術調査専門委員会の指導・助言のもと、地形の赤色立体図化や軒瓦の三次元計測を行い、今後の調査研究に必要な基礎データを蓄積するとともに、調査成果の発表や出前講座等の啓発活動を行った。天然記念物ネコギギは、鈴鹿高校と連携して生息確認調査や環境DNA調査を実施して保護増殖につなげるとともに、ネコギギの紹介やその保護に関する取組状況を市広報番組において特集番組を制作して普及啓発を行い、市民の意識向上にも努めた。歴史資料の公開・活用による地域や学校との連携については、歴史博物館において企画展等を開催して亀山市の歴史を伝える機会は提供したが、急遽、新たな博物館登録に向けた対応を行うために令和7年10月1日から令和9年3月31日まで休館することとし、博物館資料台帳等の整備を行いデジタル・アーカイブ化を進めている。

B

まずまず進んだ

今後の展開方針

東海道を基軸とした歴史的風致の維持向上を図るため、継続して街道の環境整備や文化財の保護に取り組むとともに、3宿をはじめとする歴史文化資産の魅力を発信し、東海道57次としての広域連携にも取り組む。伝統的建造物群保存地区においては、引き続き住民の協力を得ながら計画的に修理修景事業の進捗を図るとともに保存・活用を進める。また、令和9年度に亀山市で開催される全国伝統的建造物群保存地区協議会総会に向けて、行政・地域・市民が一体となり、本市の歴史文化を生かした交流とにぎわいの創出につなげられるよう準備を進める。文化財の保存と活用については、鈴鹿関跡解明に向け、専門委員会の指導・助言のもと、今後の調査研究の方向性を見据える基礎データの蓄積を図るとともに情報発信に努める。また、天然記念物ネコギギについては、関係機関と連携して引き続き生息調査を行い保護増殖に努める。歴史博物館については、新たな博物館登録に向け、引き続き収蔵資料台帳の整備や収蔵資料のデジタル・アーカイブ化に取り組む。